

令和3年度 入学者教育課程表

A 表

(表 面)

教育局	胆振	北海道登別青嶺高等学校	全日制課程	学科	普通科	第1学年の 学 級 数	3
-----	----	-------------	-------	----	-----	----------------	---

教科	学年 科目・標準単位数 類型		1年次	2年次	3年次	2～3年次	計
			共通履修科目	共通履修科目	共通履修科目	自由選択科目	
国語	国語総合	4	5				5
	国語表現	3					
	現代文A	2		2			2
	現代文B	4			5		5
	古典A	2		2			2
	古典B	4					
	○実用国語	2				2	0～2
	○古典探究	2				2	0～2
	○日本語研究	2				2	0～2
	○百人一首の世界	2				2	0～2
地理歴史	世界史A	2	2				2
	世界史B	4					
	日本史A	2					
	日本史B	4		3	2		5
	地理A	2				2	2
	地理B	4					
	○探究日本史	2				2	0～2
公民	現代社会	2	2				2
	倫理	2					
	政治・経済	2				2	0～2
数学	数学Ⅰ	3	3				3
	数学Ⅱ	4				4	0～4
	数学Ⅲ	5				6	0～6
	数学A	2	2				2
	数学B	2				2	0～2
	数学活用	2				2	0～2
	○発展数学	4				4	0～4
	○数学研究	4				4	0～4
	○数学教養	4				4	0～4
	○実用数学	2				2	0～2
	○応用数学	4				4	0～4
	○数学課題探究	2				2	0～2
	○基礎数学	2				2	0～2
理科	科学と人間生活	2					
	物理基礎	2				2	0～2
	物理	4				4	0～4
	化学基礎	2	2				2
	化学	4				6	0～6
	生物基礎	2		2			2
	生物	4				6	0～6
	地学基礎	2				2	0～2
	地学	4					
保健体育	理科課題研究	1					
	体育	7～8	2	2	3		7
	保健	2	1	1			2
	○生涯スポーツ	2				2	0～2
	○スポーツA	2				2	0～2
芸術	○スポーツB	2				2	0～2
	音楽Ⅰ	2	2				2
	音楽Ⅱ	2					
	音楽Ⅲ	2					
	美術Ⅰ	2					
	美術Ⅱ	2					
	美術Ⅲ	2					
	工芸Ⅰ	2					
	工芸Ⅱ	2					
	工芸Ⅲ	2					
書道	書道Ⅰ	2					
	書道Ⅱ	2					
	書道Ⅲ	2					

教科	学年 類型		1年次	2年次	3年次	2～3年次	計
	科目・標準単位数		共通履修科目	共通履修科目	共通履修科目	自由選択科目	
外国語	コミュニケーション英語基礎	2					
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3				3
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4			4
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4		4
	英語表現Ⅰ	2	2				2
	英語表現Ⅱ	4				4	0～4
	英語会話	2				2	0～2
	○ステップアップイングリッシュ	2				2	0～2
	○英語アドバンス	2				2	0～2
	○英語ベーシック	2				2	0～2
○応用英語	4				4	0～4	
家庭	家庭基礎	2		2			2
	家庭総合	4					
	生活デザイン	4					
情報	社会と情報	2	2				2
	情報の科学	2					
商業	簿記	2～6				4	0～4
家庭	服飾手芸	2～4				2 ※1	0～2
	フードデザイン	2～8				4	0～4
	○情報実習	2				2	0～2
情報	○ビジネス文書基礎	2				2	0～2
	○ビジネス文書活用	2				2	0～2
	○表計算活用	2				2	0～2
	音楽	演奏研究	2～6			2 ※2	0～2
	ソルフェージュ	2～4				2	0～2
○総合	○じもと学Ⅰ	2				2 ※3	0～2
	○じもと学Ⅱ	2				2 ※3	0～2
各学科に共通する各教科・科目の計			28	18	14	6～24	66～84
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0	0	0～18	0～18
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)			3～6	1	1	1	3
合 計			29	19	15	24	87
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1		3
教育課程に係るその他の事項							
卒業までに修得させる単位数			74 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数		○ 1 分離している 2 分離していない
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制	学期の区分ごとの単位修得の認定		○ 1 実施している 2 実施していない	
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()				
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (①・④) 2 実施していない				
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。				
備 考	1 「Ⅰ」、「Ⅱ」、「Ⅲ」を付した科目は、この順に履修する。 2 2～3年次は、選択科目の中から2年次10単位、3年次14単位を選択して履修する。 3 ※1、※2、※3は異年次交流の科目である。2年次、3年次双方で選択することはできない。 4 理科の自由選択科目については、「物理基礎」、「地学基礎」のどちらかを必ず履修する。また、「物理」、「生物」を選択する場合は、先に当該科目の基礎を付した科目を履修していなければならない。 5 自由選択科目「化学」は、2年次で2単位、3年次で4単位を継続して履修する。 6 自由選択科目「英語ベーシック」を履修した者は、「英語アドバンス」を履修することはできない。 7 教科「家庭」の専門科目は「家庭基礎」を履修した後に履修する。						

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。